

テレマンいろいろ

リコーダー

本村睦幸

チェンバロ

土居瑞穂



ゲオルク・フィリップ・テレマン(没後250年)

“ハラッハ”ソナタ 第2番 イ短調 (非真作?)

ソナティーナ 第2番 ハ短調 TWV 41:c2

〈12のソロ〉より ソロ 第8番 ト長調 TWV 41:G8

チェンバロのためのファンタジア 第13, 14番 TWV 33:13-14

2017年 2月24日 [金]

Space 415

中野区新井2-48-12

<http://space415.info/>

JR中央線／東京メトロ東西線

中野駅北口より徒歩12分

野方警察署近く、区立野方児童館の隣

「芦野」の表札がある入口を入ってすぐ右の建物の2階

休憩なし60分のトークコンサート

同プログラム3回公演

昼 13:30 開演 (13:00 開場)

夕 16:00 開演 (15:00 開場)

夜 19:40 開演 (18:00 開場)

全自由席 ¥3,000 要予約

■ご予約・お問い合わせ

デ・ルストホフ: lusthof.concerts@gmail.com

あしの: 090-6045-9311

<http://mutsuyukimotomura.com/>

中野の Space 415 で、トークを含め、休憩なし 60 分のプログラムを 1 日 3 公演行う「小さな室内楽」、第 22 回は、チェンバロの土居瑞穂さんをゲストにお迎えして、今年が没後 250 年となるテレマンの作品をお聴きいただきます。リコーダーのレパートリーの中で、テレマンの作品はとりわけ魅力を放つものですが、「リコーダーのため」と明記してある作品は意外に多くありません。そんな中で、オーストリアのハラッハ伯爵のコレクションから発見された“ハラッハ”ソナタは、テレマンの真作かどうかはともかく、嬉しい追加です。〈6つのソナティーナ〉や〈12のソロ〉も、知られるようになってからまだ 20 年ぐらいではないでしょうか。これら、比較的に新しい曲とともに、土居さんにはチェンバロソロのためのファンタジアも弾いていただきます。どうぞお楽しみに。



中野駅より徒歩約 13 分、赤系、青系矢印どちらからもいらっしゃれます。が、お薦めは北口左手のエスカレーターを上り平和の森公園を通り抜ける青系コースです。

予告

■小さな室内楽 @ Space 415

・第 23 回
3月 30, 31 日 (木金) 2 日間で同プログラム 6 公演
本村睦幸 (リコーダー)、三和睦子 (チェンバロ)
マンチーニのソナタ、C. P. E. バッハのソナタなど

・第 24 回
5月 10 日 (水)
本村睦幸 (リコーダー)、寺村朋子 (チェンバロ)
デュパールのソナタ、ペーパープッシュのソナタなど

■本村睦幸リコーダーシリーズ @ 近江楽堂

・第 11 回
6月 11 日 (日)
本村睦幸 with ジュゴン・ボーイズ
フランスのソナタ

本村睦幸 Mutsuyuki Motomura (リコーダー)

アムステルダム音楽院卒。W. ファン・ハウエらに師事。アムステルダムを拠点とする十余年に渡る活動を経て、2001 年に帰国。リコーダー音楽が花開いたルネサンス・バロック時代の室内楽の楽しみを現代に活かすことを夢見て、愛好家の方々にとっての聴く喜び、奏でる喜びの双方を見据えた活動を展開している。現在は、リコーダーに本来の小さなサロンのあり方を探る〈小さな室内楽〉シリーズを東京での活動のベースにおきながら、リコーダーの様々なレパートリーを網羅的に取り上げる〈本村睦幸リコーダーシリーズ〉や、古楽器に限らない多様な演奏家との共演、現代作品の委嘱なども通してリコーダー音楽の可能性を追求している。CD に「オランダバロックの愉悦」、「ハルサンティ:リコーダーソナタ全 6 曲」、「無伴奏リコーダー 600 年の旅」があるほか、昨年は、CD「テレマン:無伴奏フルートのための 12 のファンタジア」に加えて、同曲集のアルトリコーダー版を全音楽譜出版より校訂出版している。ホームページは、<http://mutsuyukimotomura.com/>

土居瑞穂 Mizuho Doi (チェンバロ)

東京芸術大学古楽科卒業。同大学院を修了。チェンバロを鈴木雅明氏に師事。東京芸術大学助手を務める。チェンバロ、オルガンの通奏低音奏者として、栃木「蔵の街」音楽祭、NHK「FMリサイタル」等に出演。J.S. バッハの「カンタータ第 48 集」(バッハ・コレギウム・ジャパン)のレコーディング、G・ボッセ、D・ガルフオース、M・レイフィールド、H・ヴィンシャーマン指揮のオペラ、宗教曲等にも通奏低音で参加。日本チェンバロ協会正会員。